

「昔から經文を落したものは、長命だと言ふ言ひ傳へがある。」

親父さんが新吉に言つた。

晝過ぎになつて本郷の井家の下宿へ辻潤と二人で行つた。

一緒に美術社へ行く。一氏義良は居ない。神田の何とか言ふ料理屋へ行つてゐるので、君達も一緒に行かうと言ふ。

肉を焼いて食つたのだ。

山崎斌や武藤直治も居た。

兵隊に行つた矢部友衛が元氣がなくて、憐憫に堪えないので、日曜を利用して慰安會を開いたのだと云ふ。

軍服姿の彼があとから來る。

新吉はキチガヒではないぢやないか「お前は爆發しろ」彼等の嘲笑と不満の前に新吉は觀音經を言つてみた。

炭火が熱くて酒を飲むと、頭が割れそうな程のぼせる。